

## 2012（平成 24）年度版 年次報告書の作成方針について

## 1 年次報告書の位置付け

京都市地球温暖化対策条例第 8 条

市長は、毎年度、次に掲げる事項を記載した報告書を作成し、これを公表しなければならない。

- (1) 本市の区域内における温室効果ガスの総排出量
- (2) 地球温暖化の防止のために講じた施策の実施状況及びその評価

## 2 作成数と配布先（実績）

- (1) 作成数 概要編 3000 部、資料編は製本せず市ホームページに掲載
- (2) 概要編配布先 市役所、区役所・支所、京エコロジーセンターなどで配架、省エネセミナー、講演会、出前トーク、本市関連のイベント等で配布、市ホームページへ掲載

## 3 これまでの作成状況

平成 17 年度 ～平成 20 年度	<p>条例に基づき年次報告書を作成，公開</p> <p><b>内容</b>（約 140 ページ，グラフ・データと文章で構成）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 温室効果ガス総排出量の推移</li> <li>○ 部門別の二酸化炭素排出量の推移</li> <li>○ エネルギー消費量の推移</li> <li>○ 二酸化炭素排出量の増減要因分析（電気の排出係数，気温，産業部門の燃料転換，自動車燃費，民生部門のエネルギー使用状況）</li> <li>○ 地球温暖化対策計画の進捗状況（着手状況，具体的取組の紹介）</li> </ul>
平成 21 年度 ～平成 22 年度	<p>「京都議定書誕生の地，京都の先進的な取組を，市民に読んでわかってもらえるような報告書にするべき」（平成 21 年度第 2 回推進委員会） ⇒ 従来の年次報告書を「資料編」と位置付け，現在の「概要編」年次報告書を作成</p> <p><b>内容</b>（30 ページ，写真やイラストを多用した，わかりやすい構成）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地球温暖化って？</li> <li>○ 家庭でできる取組と京都市の取組</li> <li>○ 会社やお店でできる取組と京都市の取組</li> <li>○ 温室効果ガス総排出量の推移</li> <li>○ 問合せ先一覧</li> </ul>
平成 23 年度	<p>「概要編」について，地球温暖化対策計画に掲げた 6 つの社会像別に，京都市の取組を紹介する構成に変更</p> <p><b>内容</b>（30 ページ，写真やイラストを多用した，わかりやすい構成）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地球温暖化って？</li> <li>○ 家庭でできる取組と会社やお店でできる取組</li> <li>○ 社会像別，京都市の取組</li> <li>○ 温室効果ガス総排出量の推移</li> <li>○ 問合せ先一覧</li> </ul>

#### 4 平成 23 年度 年次報告書策定時(平成 23 年度第 2 回推進委員会)の御意見

- ① 配布部数 3,000 部では少なすぎるのではないかと。
- ② 30 ページ構成というのは、情報量が多すぎて、興味のある人しか読まないのではないかと。ページ数を減らして、配布数を増やしてはどうか。
- ③ 20 年後の社会像なので、将来を担う子どもと、親と一緒に読めるような内容が良い。
- ④ 図表が多いので、資料編に移せる情報を精査してはどうか。
- ⑤ 6 つの社会像について、内容を簡単に紹介できる A 3 版のポスターやリーフレット等があると、汎用的に使用できる。地球温暖化対策についてポスター等を活用して多くの人に知ってもらい、もう少し詳しく知りたい人に対しては年次報告書の概要編、さらにデータについても知りたいという人に対しては資料編を用意しておくという使用用途分担をするとよい。
- ⑥ ポスターは印刷して配るのではなく、ホームページに掲載しておいて、適宜活用していただくという形式にすれば、コストをかけなくてもよい。
- ⑦ 二酸化炭素の排出量について、民生・家庭部門での増減理由は、世帯数の増加のみなのか。他にもあるのではないかと。しっかりとした説明を記載すべきではないかと。
- ⑧ 家庭でできる省エネ事例について、どのような行動が CO2 削減に結びつくか、正確な説明(例えば、冷房であれば、〇〇度から 28℃に設定を〇時間行えば CO2 が 10.6 キロ減る)を追記し、また事例紹介を増やしたほうがよいのではないかと。

#### 5 その他の意見

- ① 市議会から、CO2 が減っていることを市民が身近に感じることができるようにしっかりと見える化しなければならない。
- ② 取組を執行している部署から、紙面の都合から掲載できなかった取組に関して、掲載を強く求める要望があった。

#### 6 平成 24 年度 年次報告書(案)

##### (1) 基本方針

条例に基づく、市域における温室効果ガスの総排出量及び施策の実施状況及びその評価の報告書として作成する。手にとって気軽に読んで頂けるよう、地球温暖化の仕組や省エネ事例紹介なども交え、わかりやすさ、「見える化」という観点も重視する。

##### (2) 報告書案－3部構成

形式	ターゲット	構成・内容	媒体・用途
A 3 版	地球温暖化問題に関心がない	【概要編からの抜粋】 イメージ別紙	市ホームページ掲載 (必要に応じて配布)
概要編	地球温暖化問題に関心があり、手軽に読みたい	【昨年度同様】 ○地球温暖化って? ○家庭でできる取組と会社やお店でできる取組 ○社会像別、京都市の取組 ○温室効果ガス総排出量の推移 ○問合せ先一覧	製本及び 市ホームページ掲載 当初 3000 冊作成し、鋭意配布。なくなり次第、追加印刷
本編	地球温暖化問題に関心があり、じっくり読みたい	【昨年度の資料編同様】 ○温室効果ガス総排出量の推移 ○部門別の二酸化炭素排出量の推移 ○エネルギー消費量の推移 ○二酸化炭素排出量の増減要因分析 ○地球温暖化対策計画の進捗状況	市ホームページ掲載

(参考) 地球温暖化対策室において定期的に発行する印刷物

用途 情報量	地球温暖化対策 進捗報告 (総合)	地球温暖化対策 実施報告 (個別事業)	環境教育	省エネ促進情報
多	年次報告書(資料編) [140P] 【年1回】 <インターネット>	◆自主広報(市民しん ぶん, HP など) 【随時(事業開始時 など)】<全世界帯>  ◆個別事業の紹介パ ンフレット類 [1~4P] 【随時(事業開始時 など)】 <不特定多数>	◆環境副読本 (中学生向け) [39P] 【年1回】 <全生徒>	◆インターネット版 環境家計簿 【常時】 <インターネット>
中	年次報告書(概要編) [32P] 【年1回】 <3000部配布, イン ターネット>		◆環境副読本 (小学4年生向け) [23P] 【年1回】 <全児童>	◆こどもエコライフチ ャレンジ(子ども版環 境家計簿) [17P] 【年1回】 <小学5年生全児童 >
少	年次報告書(A3版) [4P] 【年1回】 <インターネット>		◆環境副読本 (小学5年生向け) [31P] 【年1回】 <全児童>	

※ [] : ページ数, 【】 : 作成頻度, <> : 配布対象など

※ このほか, 諸般の事情に応じて, 随時作成される印刷物がある。節電PR冊子など